

7都県0、15府県1

消えゆく もやし屋

1995年頃。

550以上いたもやし生産者。

現在は8割減の110のみ。

原料種子価格は3倍以上、

最低賃金は30%以上、

様々なコストが上昇。

一方の小売価格は、

1995年と比べて2割以上下落。

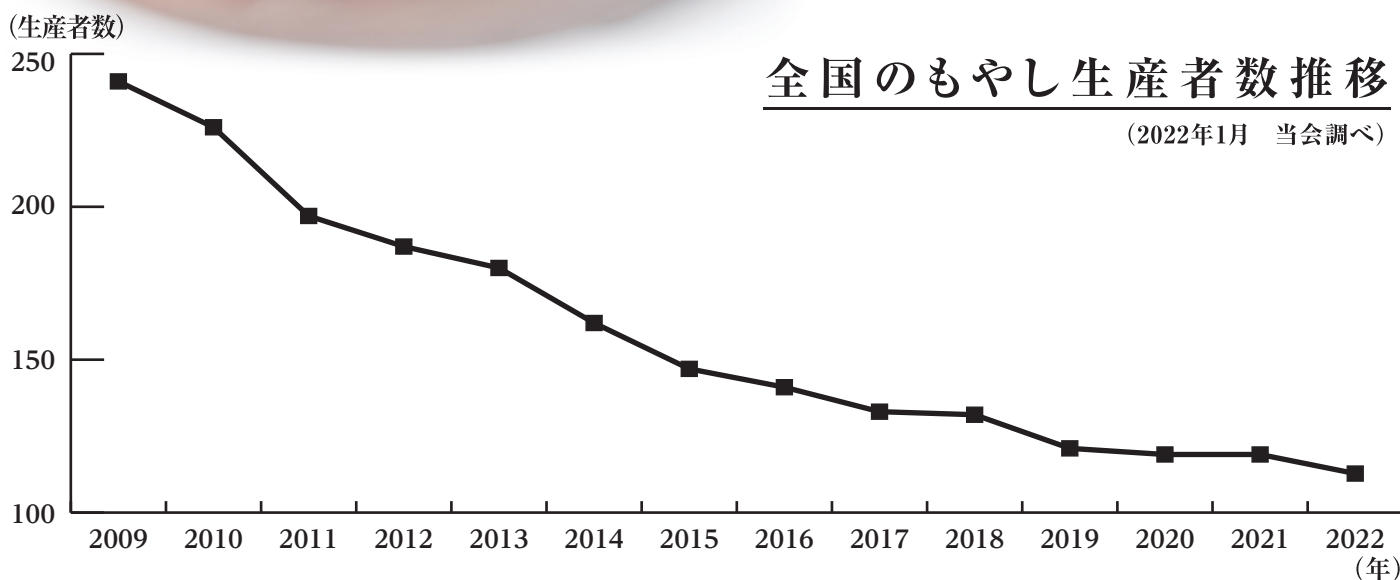
経費削減への努力は限界を超え、

健全な経営ができていません。



全国のもやし生産者数推移

(2022年1月 当会調べ)



もやしを届け続けたい。もやし生産者の切なる願いです。

私共もやし生産者は、安全・安心な商品を消費者の皆様にお届けすることが使命であります。

今後も全国の消費者様への安定供給を維持するために、非常に深刻なもやし生産者の現実・経営環境等へのご理解とご高配を賜りますようお願い申し上げます。

工業組合もやし生産者協会

〒120-0036 東京都足立区千住仲町40番18-202号 TEL.03-3882-9027 URL <http://www.moyashi.or.jp/>

令和4年2月21日

お客様各位

工業組合もやし生産者協会
理事長 林 正 二



「もやし生産者の窮状について」（第2報）

拝啓 向春の候、貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。
また、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当組合は、日本で最大数のもやし生産者を擁する認可団体です。
さて、お客様各位には、去る12月に文書「もやし生産者の窮状にご理解を！」をお送りしたところですが、このたび、標記の件につきまして、別紙「消えゆくもやし屋」を送付いたします。

もやしは食卓になくてはならない野菜です。
私共もやし生産者は、安全・安心な商品を消費者の皆様にお届けすることが使命であります。
今後も全国の消費者様への安定供給を維持するために、別紙のと通りの非常に深刻なもやし生産者の現実・経営環境等にご理解とご高配を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

（添付資料）

○別紙「消えゆくもやし屋」

○お問い合わせ先
工業組合もやし生産者協会 事務局
〒120-0036 東京都足立区千住仲町40番18-202号
TEL. 03-3882-9027 FAX 03-3882-4930
E-mail: info@moyashi.or.jp
URL <http://www.moyashi.or.jp/>

令和4年2月21日

報道関係各位

工業組合もやし生産者協会
理事長 林 正 二



もやし生産業界の苦境について（報道のお願い）

拝啓 向春の候、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。
また、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当組合は、日本で最大数のもやし生産者を擁する認可団体です。
このたび、標記の件につきまして、ぜひご支援いただきたく、別紙「消えゆくもやし屋」を添えて
お手紙を差し上げます。

年末以降、各界の窮状や製品の値上げの報道が相次いでいます。
これらに共通した要因とされる原油高騰や海上輸送コスト上昇等は、もやし生産においても例外で
はなく、大きな影響を被っております。
そのうえ、もやしの主な原料種子である中国産緑豆の高騰が2年連続する見込みであり、年末以降
多くのもやし生産者がそれぞれの取引先に理解を求めてまわっているところです。

戦後1000程度いたもやし生産者は、1995年頃には550程度に、現在では、110のみ、
そのうち7都県はもやし生産者がゼロ、14府県は1生産者のみとなってしまいました。

※数値はいずれも本社所在地数

もやしは食卓になくてはならない野菜です。
私共もやし生産者は、安全・安心な商品を消費者の皆様にお届けすることが使命であります。

当組合では、今後のもやしの安定供給のため、消費者の皆様にも、この深刻なもやし生産者の現実・
経営環境等へのご理解とご支援をいただきたいと強く願っております。

報道関係各位におかれましては、ぜひ消費者の皆様にお伝えいただくご支援を賜りますよう何卒
よろしくお願い申し上げます。

敬具

（添付資料）

○ 別紙「消えゆくもやし屋」

流通関係団体及びその会員など、約800ヶ所へも送付しています。

また、去る12月には文書「もやし生産者の窮状について」を同様に発出しました。

両文書は、当会ホームページ上にも掲載しています。

-----お問い合わせ・取材受付窓口-----

工業組合もやし生産者協会 事務局

〒120-0036 東京都足立区千住仲町40番18-202号 TEL. 03-3882-9027 FAX 03-3882-4930

E-mail: info@moyashi.or.jp URL <http://www.moyashi.or.jp/>